



2010年1月7日

各 位

会社名 株式会社キョーリン
代表者 代表取締役社長 山下 正弘
コード番号 4569
東証 (第一部)
問合わせ先 取締役 経営戦略室長 穂川 稔
TEL : 03-3293-3414

会社名 小野薬品工業株式会社
代表者 代表取締役社長 相良 暁
コード番号 4528
東証・大証 (各第一部)
問合わせ先 常務取締役広報室長 森本公也
TEL : 06-6263-5670

過活動膀胱治療剤「イミダフェナシン（一般名）」の口腔内崩壊錠を国内承認申請

株式会社キョーリンの子会社である杏林製薬株式会社（本社：東京都千代田区、社長：平井 敬二、以下「杏林製薬」）と小野薬品工業株式会社（本社：大阪府中央区、社長：相良 暁、以下「小野薬品」）は、2007年6月に新発売しました過活動膀胱治療剤「ウリトス®錠 0.1mg（杏林製薬）、ステーブラ®錠 0.1mg（小野薬品）／一般名：イミダフェナシン」の追加剤型として、口腔内崩壊錠を2009年12月24日付で厚生労働省に承認申請しました。

イミダフェナシンは、杏林製薬が創製し、同社と小野薬品が共同開発した新規の抗コリン剤で、ムスカリン受容体サブタイプのM3およびM1に対して選択的な拮抗作用を示すことにより、過活動膀胱における尿意切迫感、頻尿及び切迫性尿失禁を改善します。

また、本剤は膀胱選択性が高く、口渇（口内乾燥）が少ない薬剤であり、過活動膀胱患者さんのQOL向上に役立つ薬剤としても高い評価を得ております。

今回申請しました口腔内崩壊錠は、水なしでも服用できますので、高齢者や嚥下機能の低下した患者さん、さらには水分の摂取を控えておられる患者さんにも有用であるなど、患者さんの服薬時の選択肢が一層広がるとともに、服薬コンプライアンスの向上に資するものと期待しております。

<参考>

過活動膀胱（OAB : Overactive Bladder）

過活動膀胱は、蓄尿障害を示唆する症状症候群で、尿意切迫感を主訴とし、通常これに頻尿や夜間頻尿を伴い、場合によっては切迫性尿失禁を伴います。トイレの不安のために外出を控えたり、夜間の睡眠が十分に取れなかったりと日々の行動が制限され、患者さんのQOLが著しく低下してしまうことがOABの大きな問題となっています。日本排尿機能学会の疫学調査によると、40歳以上の男女全体の12.4%、約810万人が日本における過活動膀胱の潜在患者であると推定されています。

以上